

研修会報告

令和元年 9 月 12 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「もう一步踏み込む！心電図のノウハウ講座～」

開催日時 令和元年 9 月 7 日（土）13：00 ～17：00

会場 仙台市立病院 3階講堂

- ・講演 1「心臓リハビリテーションについて」

講師：フクダ電子

- ・講演 2「心電図検査のノウハウを学ぶ」

講師：馬場記念病院 検査部 子甫 徹 技師

- ・講演 3「認定心電検査技師の資格を取得して」

講師：大崎市民病院 臨床検査部 山本 修平 技師

- ・講演 4「診断と治療のノウハウを学ぶ～危険な心電図編～」

講師：仙台医療センター 循環器内科/統括診療部長 篠崎 毅 先生

生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員 110 名 非会員 5 名 計 115 名

内容

今回は「もう一步医踏み込む！心電図のノウハウ講座」と題し、学術的な知識のみならず精度管理や運用、認定資格についてまで幅広く学べる研修会を企画した。

はじめにフクダ電子より、心臓リハビリテーションについて講演いただいた。施設基準や運用の実際を学び、検査技師としていかに関わるかを考える良い機会であった。

講演 2 では、第 1 部として精度管理やパニック値の運用について解説していただいた。近年は医療法の改正や ISO の関連もあり、生理検査室の運用や保守点検について考えさせられる機会も少なくない。内部精度管理の具体的方法などを提示され、大変参考になる講演であった。第 2 部では救急外来で遭遇した症例をまじえ、危険な心電図の記録・判読のポイントや緊急時対応について解説していただいた。検査技師としていかに検査室外に活躍の場を広げるか、その考え方まで学べる貴重な機会であった。

講演 3 では認定心電検査技師の資格について、試験対策や取得してどう生かされているかを具体的に紹介していただいた。今後、認定取得を考える会員にとって有益な内容であったと考える。

講演 4 では心電図検査について臨床医の立場から講演いただいた。多くの症例を提示しながら心電図変化や診断のポイントを解説していただき、まさに心電図のノウハウを学べる内容であった。カブレラ誘導を用いた判読など、検査技師も押さえておくべき知識を学ぶことができた。

普段の研修会では聞けない貴重な内容も多く、参加者は熱心に聴講されていたように思う。今後も宮城県臨床検査技師会員にとって価値ある研修会を開催していきたい。